

# 令和5年度 さいたま市立さくら草特別支援学校

## 第2回学校運営協議会

- 1 日 時 令和5年11月10日（金） 10時00分～11時30分
- 2 場 所 さくら草特別支援学校会議室
- 3 出席者 9名（欠席6名）
- 4 議事録

- (1) 開会のことば
- (2) 校長あいさつ
- (3) 教育活動の近況報告
- (4) 熟議「学校・家庭・地域で連携してできる取組について」

今年度、学校・家庭・地域で連携した取組の実施状況について、委員の方々から報告をしていただきました。

- ・卒業生の進路先（施設）との連携（引継ぎ）やアフターフォローが大事である。
- ・先日はお手紙配りで学校の子どもたちが来てくれた。園の子どもたちも学校にお手紙を届けに行っている。そういった意味でも開かれた学校だと思う。
- ・学校の文化祭に、園の職員や子どもたちが行ける機会があるといい。園の子どもたちが歌やダンスの披露をする場があるとありがたい。園と中学校で行ったふれあい体験のようなものができるといい。
- ・避難所運営訓練を行ったが、地域の小学生やその親がさくら草を見学できる機会をもてるよう知らせていきたい。
- ・地域の方に学校のことを知っていただくことは大事であり、そのためにも日頃からの交流は大切である。
- ・文化祭に病院スタッフが見学させていただいた。多くのスタッフが子どもたちの様子を見られるような機会を増やしていきたい。
- ・学校卒業後は大きな転換期。施設入所後に子どもや保護者が残念な思いをしないよう、実習に行ったときによかったことやいやだったことなどの生の声を知りたい。事業所の受け入れ体制の改善につなげていきたい。
- ・進路対策検討委員会や顔の見えるネットワーク会議等で、学校から事業所へは情報提供をしているが、生の声をどういった形で届けるか、ニーズに対してどのように応えていくか考えていく必要がある。地域でも声を拾えるシステムづくりや話し合える機会を設けていきたい。
- ・吹奏楽部の交流では、生徒も活躍できたことで自信につながった。特別支援学級とさくら草とのボッチャ交流では、中学生の表情がとても優しかった。ぜひ3学期も行いたい。
- ・演劇部や日本文学部にも活躍の場があるとありがたい。
- ・特別支援学校のセンター的機能として、研修の講師を依頼したい。
- ・さくら草での避難所運営訓練に、中学校生徒も参加できるといい。

- ・文化祭等のお知らせを病院内に掲示し、広めていきたい。
- ・進路等については、高等部だけでなく小学部段階から保護者に発信していく必要がある。地域との関わりも大切にしていきたい。

(5) 諸連絡

(6) 閉会のことば

終了後、文化祭の見学を行いました。